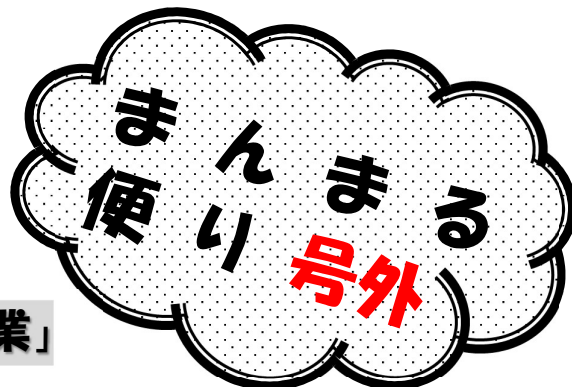




2020年1月20日発行

多摩市立子育て総合センターたまっこ

子育てひろば・一時保育事務室



## 「中学生と乳幼児親子のふれあい交流授業」

### 実施報告

多摩市立青陵中学校の3年生（約30人の3クラス合計約90人）が、家庭科授業の一環として、たまっこの「子育てひろば」で乳幼児親子と交流しました。この「ふれあい交流授業」は、未来のママやパパとなる中学生に、子育ての楽しさ、大変さ、子どものかわいさ、おもしろさを伝える目的で、青陵中学校の先生方とご相談させていただきながら準備を進めました。

参加して下さった親子は、3日間でのべ 31組 71人！

参加したママたちにとっても、地域の中学生との交流を通じて得るものがたくさんあったようです。皆様、ご協力ありがとうございました。

交流授業後の中学生の感想と、参加した乳幼児の保護者の感想を抜粋してご紹介します。

（実施日 2019年10月15日、17日、21日）



### 乳幼児の保護者の感想



#### ◆わが子が楽しそうで嬉しかった！

- 赤ちゃんを抱っこするのに緊張したり、抱いてみたら意外と重かったり、力が強かったり…、そんな、赤ちゃんあるあるに共感し合いながら過ごしました。緊張してるみたいでしたが、子どもたちを可愛いと思ってきているのがすごく伝わって来て、私も子どもたちも、とても嬉しかったです。
- まだ人見知り中なので、抱っこをしてもらった時は泣いてしまいましたが、物を渡してもらったり、手を握ってもらった時はとても嬉しそうな反応でした。周りに赤ちゃんがいないようで、少々慣れない様子でしたが、「こうやると反応するよ」等、教えてあげるとみんな楽しそうに対応してくれ、お互いに良い時間になったようです。
- 子どもがすっかり慣れて、長男は電車で遊んでもらい大満足、次男は抱かれて眠りそうな程落ち着いていました。
- 息子も喜んで遊んでもらったり、抱っこしてもらったので、参加して良かったです。
- 中学生が来て、案の定大泣きでした（笑）。後半は泣き止んで一緒に遊んでいたため、子どもにとって良いトレーニング（人に慣れる）になったんじゃないかなと思いました。
- 去年は泣いてしまって全く交流できなかったのですが、今年はお兄さん達と遊ぶことができ良かったです。子どもの成長を見ることができました。
- 交流体験3回目ということもあり、すぐに慣れて遊び始めました。自分から絵本を渡したり、話したりしていて、娘の成長も感じられました。



# 多摩市立青陵中学校 3 年生

## 「乳幼児親子とのふれあい交流授業」の感想（交流を体験してわかったこと、感じたこと）



小さい子の特徴などが授業で学んだことを実際に見たり体験したりできたので、すごくいい体験になった。私は職場体験で保育園に行って5才の子どもたちと触れあったりしたが、たまっちは5才以下の子どもたちだったので、5才とそれ以下の子どもたちの差がとてもあったので成長がとても分かりやすく早い時期だと思った。将来役立つアドバイスをいただいたので、そのアドバイスを参考にしたいと思った。



お母さんの自由の時間は1日の中でとても少なく、昼寝をする3時間程の間だけだと知り、改めてお母さん、お父さんは子どもの世話を1日中やるので大変だなと思った。それと同時にすごいなと思った。



私が抱っこしたら赤ちゃんは泣いてしまい、お母さんがすぐ抱っこしたら赤ちゃんはすぐに泣きやんで、お母さんってすごいなと感じた。



今回の幼児交流をして、普段聞けないような事を聞けたし、抱っこしてみても、想像していたよりも重くてびっくりした。たまっこにいた子たちは、よく泣く子や泣かない子がいたり、個人差があるというのがよくわかったし、いい勉強になった。



幼児にはそれぞれ個性があるのだろうと思う。泣く子や、わんぱくや走り回る子供もいるので、どのように接すればよいか困ったりしたこともあった。子供の接し方についてわかったので、これからはそのことを生かしたいなと思った。子供ともう一度触れ合ってみようと思った。



子どもを育てるのは楽なことじゃないと改めて思った。今までの生活リズムが変わって、慣れるのに時間がかかってしまったり、自分の時間が持てないなど肉体だけでなく、精神面でも疲れてしまうことが多いのだと知った。



この世の中では虐待が問題になっているが、今回の交流を得て、子どもも人間であり、一つの命であるから、大切に育てていくことが、子どもを産むために必要な心構えだと思った。



赤ちゃんは首がすわってなくて抱っこするのがすごく怖かったけど、今回抱っこしてみても普通にできるんだと思った。ご飯は作り置きしておく、旦那さんに手伝ってもらおう等、たくさん工夫して育てていて、とても大変だと思う。私もそうやって大切に育ててもらったんだと改めて感じた。



僕のグループが担当した子は人見知りでなかなか近づいてきてくれなかったので大変だったが、最終的にはハイタッチできるほど近づいてきてくれたので良かった。その子の好きな絵本があるということをお母さんが教えてくれたので読んだ。擬音語が多くてそこを表現豊かに読むことができるように工夫したのが幼児にとって良かったのではないかなと思った。笑顔を大切に優しく接すれば、人見知りの子どもでも次第に近づいてきてくれるのだと分かったので、また幼児と接する機会があった時は気をつけていきたい。



とても小さくて、ちょっとでも乱暴に扱ったら傷つきそうで、すごく可愛い。全体的に柔らかくてちょっと太い。可愛い。



年齢や体の大きさなどは違うけれど、それぞれに性格があった。また、たまっこのような施設があることで子どもを安心して預けることができるし、子育てにおいて様々な知識を得られるので、お母さんたちにとってこのような施設があることはとても良いことだと思う。



幼児交流を体験して、改めて子育てをするお母さんの苦勞を身にしみて感じた。質問してみると、大変なことや辛いことがたくさん出てきたので本当に大変なんだなと思う。それでも、子どもについて話をしている保護者さんはとても楽しそうに話していたので、幸せなんだろうなあと感じた。



幼児と触れ合うのはとても久しぶりだったので、体の柔らかさや動きに驚いた。親御さんと交流する機会も滅多にないので、貴重なお話を聞いてよかった。



幼児と触れ合う勇気がいったけど、抱っこしてみると人形みたいでとても自分のように大きくなっていくとは思えなかった。まだ彼ら自身で気持ちを伝えるのは難しいと思うけれど、必死に伝えようとしているところも可愛かった。プニプニした自分の何倍も小さい手から、妙に温かさを感じるのが不思議だった。「赤ちゃんはすべてを知っていて、何でもできるからこそ動かない」とどこかで聞いたことがあるが、本当にそうなんじゃないかと思えるほどの透き通ったきれいな目をしていて、全てを見透かされているようだった。



6ヶ月といった小さな時期から寝返り、方向転換や、「は」、「ほ」といった赤ちゃん言葉を話せるまで成長するという。食事は固形物ではなく、どろどろとしたものを食べている。どういことをすれば子どもはうれしか喜びかを知れた。成長は早いなど感じた。





私は子どもが好きで職場体験で保育園に行ったりいとこの4才児とよく遊んだりしているが、その親と話すことはできないから、今回子育てしている親側の話を聞くことができて良い経験になった。ちょうど接した子どもは2才になる前だったので、情緒が分化される時期なので人見知りしたり、大人への愛情だったり様々な感情を見ることができた。子育ては楽しそうなイメージだったが、実際に親の話を聞くと大変で辛いこともたくさんあることを知り、改めて親への感謝の気持ちを感じた。



私は弟や妹がないので小さいことふれあうのにはあまり自信がなかったので、とても緊張した。私もどうしたらいいかわからず、保護者の方と話す方が多くなってしまったが、一緒にパズルやおもちゃで遊んでみると、一緒に遊べたので良かった。



交流を通して、幼児はとても難しいと思った。人見知りや話しかけてもあまり話してくれず、楽しいことがあれば積極的に遊んだりなど、自己主張が強いと感じた。私も親にたくさんのをしてもらっていて、体験を通して、お母さんたちはすごいなと感じ、感謝を伝えようと思った。



3人のお子さんを見させてもらったが、自分たちの班は、1人のお子さんに3人ついてやっとなので、1人で3人見ているお母さんはすごいことなんだということがわかった。



更に世代の差を感じた。10才（以上）の年齢差があれば、当然のことだとは思いますが、自分たちが幼児期だった頃は、スマホ等が普及し始めた頃だったが、たまっにはスマホを操作している子もいた。それと同時に自分たちと同じようにブロック遊びをしたり、人形で遊んだりする子供の姿を見ることができ安心した。



幼児同士でも自分と他人に個性の大きな違いがあることを早いから認識し、尊重し合うことが大切だと思う。今までの自分は「幼稚園って義務教育ではないから行かなくても良かったんだ…」と思っていたが、幼稚園や保育園に行って他人とふれ合うことの大切さを感じることができた。



2年のときに職場体験で保育園に行ったが、その時とはちがって、1人の子をずっと見るから、その子の特徴とか性格がよくわかった。30分がとても短く感じた。私たちとは心のつくりとかが違う、学ぶことも多くあった。



私は将来、テーマパークのキャストとして働きたいので、今回の経験を活かせれば良いです。時間があっという間だった。



今回の体験では、こっちも緊張して、向こうも緊張してこっちから自己紹介などをしていたら、だんだん接してくれるようになった。絵本をくれたりなど向こうから来てくれる時もあると、とても楽しく有意義な時間となった。また、昔どんなことを自分がしていたのかを思い出すきっかけともなった。お母さんからは今の中学生についても聞かれ、親がどんな心配をしているのかなどがわかった……。



将来はパパになって子育てのやりがいや楽しさを味わってみたい。



自分とはまるで別の生き物みたいで、自分も昔はあんな感じだったとは思えなかった。



最初はどのよう接すればいいかわからなかったが、相手にだんだん心を許してくれて一緒に遊ぶことができた。そして2歳にもなると自分のしたい事が定まっていて、ちゃんと行動できるんだと改めてわかった。



お母さんたちの大変なことなどを聞いて、自分の親にありがたい気持ちになった。



幼児と交流することはめったにないので、すごく貴重な体験をすることができた。お母さんも積極的に話しかけてくれて色々な話を聞くことができた。その中でも電車で泣かれると周りの人がどう思っているのかな？という質問に私は驚いた。バスや電車で泣いている赤ちゃんはよく見かけるが、全然うるさいとか不快とか思わないけど中には注意する人やうるさく言う人もいるのかな？と思った。



お子さんの動きや様子から成長の過程を想像できたり、どんなことができるようになって、今はどんなことに挑戦しているかということ、親御さんからの話やお子さんの様子から知ることができるのが、とても貴重な経験に感じた。また何も知らない赤ちゃんが産まれてきて、そんな1つの命をとっても大変な思いをして育てる親の愛にも触れることができて、僕の両親に改めて感謝しようと思える幼児交流となったので、とてもたくさんを学ぶことができて良かった。



0才6ヶ月の子どもはもうハイハイができると思っていたが、寝返りしかできないということがわかったし、テレビなどの明るい色を認識できるということを知った。また、抱っこをしてみても、6ヶ月でも意外と体重が重いと分かったし、土方先生が言っていた頭が重いというのが想像以上でびっくりした。



## ◆普段交流する機会のない中学生との交流が新鮮！

- ・ 男子生徒 2 人だったが 2 人とも優しく子ども好きな感じで接しやすかった。中学生はまだ子どもという感覚があったが、自分の状況や想いをしっかり理解していて驚いた。親御さんがしっかりされているのだらうと思ったので、私も頑張りたいと思った。
- ・ 中学生はやりたい事が決まっていて、それを堂々と伝えて立派だと感じた。我が子もそう育てたいと感じました。～父の感想
- ・ 今日遊んでくれた生徒たちは、こちらの質問に対して、色々な視点で答えてくれて、私も勉強になることが多かった。総じて感じたことは、中学 3 年生は意外と大人で、みんな自分の意思をしっかりと持って色々な事を考えているということ。自分が今、反抗期という状況も理解しているということに驚いた。親としていつまでも子どものように思ってしまうがちだが、子どもの成長をよく見て、親も変わっていかなければいけないと思った。

## ◆中学生にこんな質問されました！

- ・ 「子どもたちの身長と体重（生まれた時と今）」
- ・ 「子育てで大変なこと」
- ・ 「子育てをしていて楽しいこと」
- ・ 「名前の由来」
- ・ 「どんな物を食べているのか？」 → うちはまだ離乳食を始めたばかりなので、10 倍がゆの説明をしました。
- ・ 「0 歳 4 ヶ月は何を食べているか？」 → ミルク、おっぱいだけ。
- ・ 「家事との両立」
- ・ 「夜は泣くのか？」 → 夜泣きはまだなので、みんなもお母さんに聞いてみて、と伝えました。
- ・ 「お母さんじゃないと泣くのか？」 → 人見知りと発達について、少しお話をしました。
- ・ 「子育てでやりがい（良かったな）と感じるときは？」 → 少しづつ出来ることが増えたり、にっこり笑ってくれるとき。
- ・ 「叱るときに心掛けていることは？」 → 質問されると答えに迷い、自分の勉強にもなりました。

## ◆中学生の様子

- ・ 小さい子との接し方が上手くて驚きました！
- ・ 息子も喜んで遊んでもらっていたり抱っこしてもらったので、参加して良かったです。いっぱい抱っこしてくれて、寝かしてくれた。
- ・ 中学生皆、抱っこが上手で安心して見ていられた。
- ・ 中学生も初対面の親子で緊張していましたが、一生懸命質問をしてくれたり、こちらの返答をよく聞いてくれていました。慣れるまでは消極的でしたが、頑張っていて質問をしてくれて好感を持ちました。
- ・ 純粋そうな生徒たちばかりで、幼児とはまた違う可愛さや魅力を感じた。

## ◆ママからも中学生に質問しちゃいました！

- ・ 「将来子どもは欲しい？」と聞いたら、みんなうんうんと頷いていました。自分は中学生の時にあまり考えたことがなかったので、こういう授業は良い機会になってくれるのではと感じました。
- ・ 親とけんかするって聞いて、そうならないで欲しいと願いました(笑)。
- ・ 反抗期の親との関係を聞くことが出来ました。自分の子どもが思春期になったらどうなるのかと思いましたが、子どもによってそれぞれだということが分かりました。日々、今のことで精一杯ですが、少し未来の息子のことを考える良い機会となりました。
- ・ 1 人の女生徒が「助産師」になりたいと言って、驚きました！そして、尊敬です！夢は成長過程でももちろん変わるかもしれませんが、夢があるって良いなと、ピュアな心に癒されました。

## ◆自分の育児の振り返りになった！

- ・ 「子育てをしていて大変なこと、うれしかったこと」「いつの時期が大変だったか？」等聞かれて、その質問で自分のこれまでの子育てを振り返ることができ、また頑張っていこうと思えました。ありがとうございます。

